

言語・文学委員会 文化の邂逅と言語分科会（第25期・第3回）

日時： 2021年7月11日（日）13:00-15:30

会場： zoom開催

議題： (1) 前回議事要旨の確認

(2) 言語・外国語教育における現今の問題と課題について

話題提供：阿部公彦委員

(3) 人文学の役割とアカデミーの制度的問題と課題について

話題提供：原田範行委員

(4) その他

出席委員： 阿部公彦、伊藤たかね、今西典子、大津由紀雄、大宮勘一郎、梶茂樹、
木津祐子、小泉政利、高橋宏幸、鳥飼玖美子、林徹、原田範行、水野尚之

(1) 前回議事要旨を確認した。

(2) 言語・外国語教育における現今の問題と課題について

話題提供：阿部委員「日本語話者の英語と日本語 ― これからの言語教育」

論点：「日本人が英語をしゃべれない」のは、日英語の違いの問題ではないか。

0. 「大学入試のあり方に関する検討会議」の提言（2021.7.7）について

1. 話し言葉と書き言葉の乖離が、日本語の方が大きい。

2. 「口」の動きの働きが、英語の方が大きい

話題提供を受けて

- ・口の動きにかかわる知識、音声学の基礎を英語教育に活かす必要性
- ・教職課程への提言を行う可能性
- ・英語以外の言語の教育と比較することの重要性
- ・他分野（医学・生理学、音響音声学など）との連携の可能性

について意見交換を行った。

(3) 人文学の役割とアカデミーの制度的問題と課題について

話題提供：原田委員「人文学の役割とアカデミーの制度的問題と課題について」

論点：

1. 人文学の危機とは制度・教育の危機：人文学的「学知」の具体的な内容を確認・措定

2. 日本学術会議における人文学の問題点

社会科学・自然科学とのディスカッション

初等・中等教育の現場とのディスカッション

3. 日本学術会議の国際性と人文学

人文学、文化交流、国際性をキーワードとした国際シンポジウムの企画の可能性

話題提供を受けて

- ・人文学と自然科学との関係性のあり方
- ・日本語の書き言葉の整備の可能性

- ・学術会議会員任命問題のその後
- ・評価制度の実態

について意見交換を行った。

（４）その他：今後の活動方針について

議長より、以下の二点が提案され、承認された。

- ・今日の議論を、幹事メンバーで整理し、今後の方針について、何らかの発信をする方向で検討する。
- ・次回は、10月の総会後に開催を予定する。